

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
コミュニティバス運行事業	企画情報課	37,323人	43,000人	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
事業者路線バスの廃止代替路線として3路線、交通空白地域への対策として7路線を運行している。							
平成26年度実績							
利用者 36,190人						決算額	
						28,486千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	2
事業に対する評価・課題等							
各路線とも利用者数は減少傾向か横ばいという状況であることから、利用者数の増加と収支率の向上を図るための方策はもちろんのこと、利用者の方々に、今後も継続して利用していただけるような取り組みが必要である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						-	
平成27年度予定							
継続して実施						予算額	
						42,012千円	
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
生活交通バス路線維持・確保事業	企画情報課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する路線バス運行に要する経費の一部を補助するもの。							
平成26年度実績							
国庫補助路線 25,168千円 10系統 県単補助路線 43,380千円 5系統 市町単独路線 10,355千円 13系統						決算額	
						78,903千円	
						実績値	-
						進捗状況	-
事業に対する評価・課題等							
利用者の減少→路線廃止、減便等縮小→さらなる利用者の減少、といった悪循環に陥っており、路線再編、経費削減等、事業者の経営努力による対応は、既に限界にきている。路線バスの交通網は辛うじて維持されているものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						-	
平成27年度予定							
継続して実施						予算額	
						79,000千円	
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
離島航路維持・確保事業	企画情報課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
離島住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する離島航路運航に要する経費の一部を補助するもの。							
平成26年度実績							
九島航路 42,764千円 日振航路 108,339千円						決算額	
						151,102千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	-
事業に対する評価・課題等							
離島航路においては、離島人口の減少を主な原因とする収入減により、欠損額は増加する一方であり、経費削減等、事業者の経営努力による対応も、既に限界にきている。航路はかろうじて維持されてはいるものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						-	
平成27年度予定							
継続して実施						予算額	
						169,345千円	
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(1) 地域生活支援体制の整備		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
在宅福祉事業(宇和島市緊急通報装置貸与事業)	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
独居高齢者および重度身体障害者等に対し緊急通報装置を貸与することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。					
平成26年度実績					
利用者数 : 256人(3月末利用者) 総事業費 : 2,159,869円					決算額
					2,160千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行ってきたい。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成27年度予定					
利用者数 : 290人 総事業費 : 2,650,000円(委託料2,200千円、設置手数料450千円)					予算額
					2,789千円
					目標値
					—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
意志疎通支援事業(コミュニケーション支援事業)	福祉課	374人	事業利用者数 500人	①充実 ●	②継続		③新規
事業の概要							
聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者等の意思疎通の円滑化を目的に、手話通訳等の方法により障害者等とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣等を実施する。							
平成26年度実績							
手話通訳者派遣数 387回 要約筆記奉仕員派遣数 18回							決算額
							1,552千円
							実績値
							405人
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
ニーズに対しては必要な支援を実施。課題であった、新規登録通訳者の増員は、2名確保できたが、既登録者の高齢化や昼間動ける登録者の減少(登録者の就労なが原因)により、今後長期にわたり昼間活動できる登録者の育成が必要と思われる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
継続して必要な支援を実施予定。数字は昨年度並みの依頼数を見込んで計上。							予算額
							1,552千円
							目標値
							400回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
移動支援事業	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
屋外で移動に著しい制限のある視覚障害者、全身性障害者、知的障害者、精神障害者及び障害児に対して、外出のための支援を行うことにより当該障害者等の移動に関する福祉の向上に寄与する。							
平成26年度実績							
実利用者数:13人						決算額	
						2,335千円	
						実績値	
						13人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
必要な支援を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成27年度予定							
前年度と同様						予算額	
						2,417千円	
						目標値	
						13人	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
地域活動支援センター	福祉課	175人/月	延利用人数 9,500人	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
障害者(児)及びその家族等に対して地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活支援の促進に寄与する。							
平成26年度実績							
(利用者数 延べ人数)							決算額
地域活動支援センターたちばな作業所 1,742人(委託料 6,360,000円/年)							35,399千円
地域活動支援センター柿の木 3,438人(委託料 10,860,000円/年)							実績値
地域活動支援センターグリーン工房 3,079人(指定管理料 13,726,641円/年)							189人/月
地域活動支援センター青空どりーむ 806人(直費 4,452,101円/年)							進捗状況
合計 9,065人(委託料等計 35,398,742円/年)							4
(月別利用者数 延べ人数)							
189人(9,065人/12か月)							
事業に対する評価・課題等							
必要な支援は実施していると思われる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度と同様							予算額
							34,849千円
							目標値
							200人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
日常生活用具医療等事業	福祉課	588人	350人	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
在宅の重度障害者(児)に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図り、もって障害者の福祉の増進に寄与する。							
平成26年度実績							
給付件数 2,084件 事業利用者人数 560人						決算額	
						21,830千円	
						実績値	
						560人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
平成26年度と同様に実施する						予算額	
						23,700千円	
						目標値	
						560人	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(2) 地域生活の支援		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
相談支援事業	福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
障害者等が自立した社会生活を営むことができるよう、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を実施する。					
平成26年度実績					
相談実人数：704人 相談延人数：6,276人					決算額
					25,411千円
地域活動支援センター柿の木：実人数 226人・延人数 3,014人					実績値
相談支援センター豊正園：実人数 238人・延人数 2,107人					6,276人
南愛媛療育センター：実人数 174人・延人数 600人					進捗状況
地域活動支援センターグリーン工房：実人数 66人・延人数 555人					4
事業に対する評価・課題等					
障害者本人や家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、障害福祉サービスの利用等必要な支援を実施している。相談数は、実人数、延人数共に昨年度より増加している。相談者の障害内容は、発達障害、高次脳機能障害、難病など多岐にわたり、相談内容も複雑で、困難ケースも多い。相談支援の充実を図るために、より高い専門性、関係機関との連携、調整などのコーディネート力が求められる。相談件数が増えているが、相談支援専門員数、特に女性の相談支援専門員の確保が困難な状況にある。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成27年度予定					
平成26年と同様に実施する。相談支援事業所に、相談支援専門員(特に女性の相談支援専門員)の増員をはたらきかける。					予算額
					23,755千円
					目標値
					6,500人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
自立支援医療事業	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
障害のため、医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、自立と日常生活の安定に寄与する。							
平成26年度実績							
自立支援医療(更生医療) 対象レセプト 3,620件(148,335,046円) 自立支援事業(育成医療) 対象レセプト 71件(1,022,947円)							決算額
							149,358千円
							実績値
							3,691件
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
必要な医療助成を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度と同様に、制度に基づき実施。							予算額
自立支援医療(更生医療) 175,000,000円 (育成医療) 2,000,000円							177,000千円
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
重度心身障害者医療事業	福祉課						
事業の概要							
重度心身障害者のため医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、医療費の無料化を実施し、重度心身障害者の生活の安定と福祉の増進に寄与する。							
平成26年度実績							
対象人員:2,327人 助成件数:61,024件 助成金額:338,765千円 施行事務費:4,737千円							決算額
							338,765千円
							実績値
							2,327人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
必要な医療助成を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度と同様に実施予定。							予算額
							360,000千円
							目標値
							2,327人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
特別障害者(児)福祉手当事業	福祉課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
在宅重度障害者の福祉の増進を図るため、精神又は身体に重度の障害を有する在宅障害者の方に対し、その重度の障害によって生ずる特別な負担の一助として手当を支給する。							
平成26年度実績							
対象延べ人数:1,403人						決算額	
						31,093千円	
						実績値	
						1,403人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
着実に事務を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
前年度と同様に実施予定。						予算額	
						33,000千円	
						目標値	
						1,403人	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
特別児童扶養手当事務事業	福祉課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
精神又は身体に障害のある児童を家庭において看護している者に対して、国が特別児童扶養手当を支給し、その児童の福祉の増進を図るため、事務取扱を実施する。							
平成26年度実績							
受給者数:157人						決算額	
						217千円	
						実績値	
						157人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
着実に事務を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
前年度と同様に実施予定。						予算額	
						275千円	
						目標値	
						157人	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(3) 教育・育成の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
特別支援教育推進事業	福祉課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
関係機関との連携のもと、障害児教育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。							
平成26年度実績							
宇和特別支援学校の進路学習会に参加(3回/年) 目的:卒業後の進路や福祉サービスに関する情報提供と関係機関の連携を図るため 9月 8日 高等部1年生(11名) 10月 6日 高等部2年生(9名) 12月15日 高等部3年生(12名)							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
進路の選択や福祉サービスの手続きなどについて、相談支援専門員と行政が助言等を行っている。福祉サービスを利用する場合にはどのような支援が必要か確認できる機会になっている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
宇和特別支援学校の進路学習会に参加(3回/年) 日程未定							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(3) 教育・育成の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
特別支援教育推進事業	福祉課 【教育総務課】			①充実 ●	②継続 □ ③新規 □
事業の概要					
関係機関との連携のもと、障害児教育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。					
平成26年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携をとり、個別の特別支援教育の取組や、特別支援教育研修会、講演会、就学相談を受けながら、一貫した教育・育成に努めた。 特別支援教育連携協議会や研修会に積極的に参加し、障害児教育の理解に努める。また、小学校や関係機関との連携を図り、就学に向けた教育相談を実施した。 幼児一人一人の実態を把握し、幼児の成長・発達を促すために研修・実践を行い、教育の充実を図る。 保護者、あけぼの園、保健師、小学校等との連携を図りながら保育を進めるとともに、就学に向けた支援に努めた。 					決算額
					—
					実績値
					100%
					進捗状況
					5
事業に対する評価・課題等					
<ul style="list-style-type: none"> 個別の特別支援教育の就学相談などの保護者の理解と協力を得てどのように推進していくか。 配慮を要する幼児についての共通理解を図り、指導にあたることで成果が感じられた。 保護者や小学校、関係機関との連携を図ることによって研修が深まり、個別の支援教育の充実を図ることができた。 研修会への参加や園内研修の充実を図り、関係機関や小学校との連携を強化することができた。 園内研修等で、特別支援コーディネーターを中心に、配慮を要する幼児についての共通理解を図り、指導にあたることができた。 保護者を含め、配慮を要する幼児への温かい関係づくりができた。小学校にも理解と配慮をもらうことができ、安心して就学することができた。 信頼関係のもと、支援を要する幼児の保護者と連携を図る努力を続けなければならない。 					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成27年度予定					
<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の研修会や講演会に参加し、理解を深め、援助の仕方を工夫していく。 家庭や関係機関、小学校等との連携を図り、就学後への引き継ぎを計画的・組織的に行うための工夫をしていく。 個別の指導計画、個別の支援計画の作成。 あけぼの園、保健師との情報交換に努め、配慮を要する幼児にとって居心地のいい園づくりを行う。 望ましい支援の在り方について、職員研修を充実させる。 					予算額
					—
					目標値
					100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり			
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備			
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進	(3) 教育・育成の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向
		現状値(H25)	目標値(H29)	
特別支援教育推進事業	学校教育課			①充実 ②継続 ● ③新規
事業の概要				
関係機関との連携の下、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。 高齢者や障害者についての理解を深める。 相手の立場と人格を尊重する態度を育成する。				
平成26年度実績				
特別養護老人施設を訪れるなど、福祉問題を学ぶ学習機会を充実させた。 学校・学級通信・保健室便りを通して、障害を持った人々への理解を深める内容を掲載した。 校内支援委員会において、特別支援学級の児童だけでなく、支援の必要な児童についての共通理解を図り、共通実践した。 特別支援学級在籍の児童をより深く理解するため、特別支援学校や支援施設に出向き、指導法について研修した。 校内支援委員会の充実を図った。 高齢者との交流会を通じて、様々な知恵や生きる力を実感させることができた。 老人介護養護施設を訪問したり、老人クラブと交流したりして、障害のある人々へや高齢者への理解を深めた。 地域の高齢者と軽スポーツを通して交流した。 全教職員参加の教育相談を行い、児童理解に努めた。 保護者や家族の願いを把握するため、個別懇談会を定期的に行った。				決算額
				実績値
				90%
				進捗状況
4				
事業に対する評価・課題等				
特別支援教育コーディネーターを中心に校内就学指導委員会を組織し、定期的に開催することにより、全職員が共通理解のもと取り組むことができた。 また、ケース会議等、関係機関と連携した取組も積極的に行うことができた。 各専門機関と連携をとり、指導を受けながら個々のニーズにあった支援を行うことができた。 障害のある方との交流を通して、相手の立場に立って考えることの大切さを学ぶことができた。				
男女共同参画の視点での評価				
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか				4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか				4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか				4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか				4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか				4
平成27年度予定				
校内就学指導委員会の実施、特別支援教育の研修の実施、ケース会議の開催。 配慮が必要な生徒の数が多くなっているため、校内においては、特別支援教育支援員や学校生活支援員との連携を強化する。 さらに、特別支援学校等、外部の専門的機関からの指導・助言を受けるなど校内研修の充実を図る。 校内支援委員会を充実したものにし、児童の個に応じた支援を行っていく。				予算額
				目標値
				100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(4) 消費者対策の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
消費者教育事業(消費者講座)	企画情報課	310人	500人				
事業の概要							
消費者支援講座の開催。							
平成26年度実績							
各地域の集まりや、社協のサロン・公民館事業等において消費生活出前講座を開催 3回(参加人数 述べ92人) (消費者相談員による悪質商法の手口等の対処方法等の紹介等)							決算額
							-
							実績値
							92名
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
市民に対して、自分自身で身を守る知識や判断能力を身に付けることを目的とした講座を行った。今後においても、消費に関する正しい情報や知識を啓発することが大切と考える。ただし、消費生活相談員が1名体制のため窓口等での相談業務との両立が困難である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
公民館職員研修会や民生児童委員等の会議で、消費生活出前講座及び悪徳商法等についてのパンフレットを配布し、啓発活動を行いながら実施。							予算額
							-
							目標値
							500人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(4) 消費者対策の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
消費者啓発事業	企画情報課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
消費者に関する理解を広めるため、消費生活センターの周知を行なうとともに、意識啓発を図ろうとするもの。							
平成26年度実績							
広報うわじまへの記事掲載 3回/年 安心安全メールによる注意喚起 11回(H27.4.21現在 5,288名登録) ロビー展開催 H26.7.7-7.11 市役所1階ロビー 市民約500名 H26.7.14 南予文化会館(男女共同参画講演会時) 市民約834名							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
多くの市民に対して最近多くみられる事例等を紹介することができ、消費者被害に遭わないように注意喚起・啓発を行うことができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
例年同様に各種手法を用いた注意喚起等を行っていく。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(5) 高齢者の生きがいづくり		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
老人クラブ育成事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、老人クラブ活動への補助金を交付している。					
平成26年度実績					
年間活動延月数 : 1,320ヶ月(110クラブ)					決算額
○社会奉仕活動事業(地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等) ○老人教養講座開催事業(介護講座、健康講座、防災講座等) ○健康増進事業(健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等)					1,716千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
					3
事業に対する評価・課題等					
高齢者の生きがいや健康づくりの推進が図られた。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成27年度予定					
年間活動延月数 : 1,320ヶ月					予算額
○社会奉仕活動事業(地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等) ○老人教養講座開催事業(介護講座、健康講座、防災講座等) ○健康増進事業(健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等)					1,716千円
					目標値
					—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(5) 高齢者の生きがいづくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
高齢者の生きがいづくり推進事業(地区公民館)	生涯学習課	26館	30館				
事業の概要							
高齢者が地域の活動に積極的に参加し、生き生きと暮らしていけるよう、各地区公民館において高齢者が気軽に参加できる学級・講座や学校の教育活動を支援するボランティア活動を実施するもの。							
平成26年度実績							
【高齢者学級】 実施公民館数 : 27館 実施回数 : 90回 高齢者参加数 : 1,927人(うち、男性625人、女性1,302人)							決算額
							75千円
							実績値
							27館
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
各種学級・講座は、男女の別や年齢に関わらず、できるだけ多くの方が学べるように、土日や日中、夜間等に分散しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるように工夫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
【高齢者学級】 実施公民館数 : 28館 実施回数 : 81回 延べ時間数 : 143時間							予算額
							163千円
							目標値
28館							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(6) 高齢者や障害者等にやさしいまちづくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
障害者用トイレ設置事業(中央・地区公民館)	生涯学習課	13館	15館	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
公民館33館(中央公民館、分館2館含む)のうち、障害者用トイレ設置館は13館で、将来的に全館設置を目指しているものの、多額の財源を必要とするため、長期的な計画として引き続き平成29年度までに2館増を目標とするもの。							
平成26年度実績							
障害者用トイレ設置のための現地調査を実施したが、多くの財源を必要とするため事業を実施することができなかった。							決算額
							0千円
							実績値
							—
							進捗状況
							1
事業に対する評価・課題等							
障害者用トイレ設置済みの公民館からは、暖房便座、ウォシュレット等の設置希望があり、今後未設置の公民館の設置と併せて協議していく必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
障害者トイレ設置のための現地調査を継続する。							予算額
							0千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(1) 介護予防事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
介護予防事業に係る二次予防事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、基本チェックリストで把握する。把握した二次予防事業対象者に、通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業を実施する。事業の利用等により、要介護状態等となることを防ぎ、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援する。</p>					
平成26年度実績					
○基本チェックリスト実施者……4,345人 ○二次予防事業対象者……720人 ○通所型介護予防事業利用者 ・運動器の機能向上プログラム参加者……実人員135人 ・栄養改善プログラム参加者……実人員1人 ・口腔機能の向上プログラム参加者……実人員27人 ○訪問型介護予防事業利用者……実人員0人					決算額
					12,269千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
○各関係機関との連携により、広く基本チェックリストの実施が図れてきている。 ○広報、リーフレット配布等により啓発活動を行い、広く周知されてきた。 ○二次予防事業利用者には、運動器の機能向上プログラム等を実施し効果があらわれている。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					3
平成27年度予定					
○二次予防事業対象者……見込み700人 ○通所型介護予防事業利用者……最大利用見込み実人員147人 宇和島会場1セット24回:計6セット、三間・吉田・津島会場1セット13回:計各会場2セット ○訪問型介護予防事業利用者……実人員1人					予算額
					14,178千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実			(1) 介護予防事業の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
介護予防事業に係る一次予防事業	高齢者福祉課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
<p>地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が主体的に実施されることを図る。 健康教育や健康相談等を通じて、介護予防を普及啓発したり、地域における活動の育成や支援を行う。</p>							
平成26年度実績							
<p>◎介護予防普及啓発事業 ○各種講座……313回・7,753人(うち介護予防講座…64回・1,459人) ○相談会……12回・152人、健康相談(保険健康課)…220回・1,635人 ○「シニア元気づくりお役立ちガイド及び情報」発行……34,800部配布 ○介護予防リーフレット配布3,000枚 ◎地域介護予防活動支援事業 ○ボランティア講座等……32回・357人、ボランティアスキルアップ研修……6回・135人 ○シニア元気づくりサポーター育成事業……12回・124人 ○高齢者元気づくり推進事業……2,667件 ○ミニサークル支援活動……20回・226人 ○ふれあいいいきいきサロン……45回・595人 ○自主グループ支援……13回・97人</p>							決算額
							9,582千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>◎介護予防普及啓発事業 ・広報、パンフレット配布、保険健康課や公民館事業と連携した普及・啓発は図れている。 ・シニア元気づくり体操普及事業・通所型介護予防事後事業を実施することにより、介護予防活動が市民に浸透してきている。 ◎地域介護予防活動支援事業 ・シニア元気づくりサポーター育成事業や介護予防ボランティア養成講座の実施により、介護予防活動への参加・ボランティア養成の基盤整備を図っているが、ボランティアの育成までには至っていない。今後の取り組みが必要。 ・高齢者元気づくり推進事業等により、高齢者が身近に集う場としての高齢者サロンの拡充や介護予防の普及啓発が図れてきている。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
<p>○シニア元気づくり体操普及事業(元気アップ体操教室)……5会場各毎月1回6ヶ月間 計30回(実人数150人) ○通所型介護予防事後事業……12回(実人数15人) ○認知症予防教室1コース6回 年4回 計24回(実人員60人) (心動げんき教室) ○介護予防講座……40回 ○健康相談(保険健康課)……220回、健康教育……230回 ○ボランティア講座等……38回 ○地域活動組織への講師派遣……580回 ○「シニア元気づくりお役立ちガイド」発行……34,800部配布</p>							予算額
							11,352千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(2) 地域包括支援センター事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
介護予防ケアマネジメント事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、要介護状態となることを予防する為、心身や環境等の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等その他の適切な事業が包括的かつ効率的に実施されるよう必要な援助を行うことを目的としてケアマネジメントを行う。					
平成26年度実績					
介護予防ケアプラン作成数 : 135件 介護予防ケアプラン評価数 : 135件					決算額
					284千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
○個別性を重視し自立支援を目指した適切な介護予防ケアプランの作成や、計画を定期的に評価し見直しを行うことで、改善に向けた支援ができた。 ○二次予防事業の通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業と連携して実施する事ができた。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					3
平成27年度予定					
介護予防ケアプラン作成見込数 : 130件					予算額
					307千円
					目標値
—					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり			
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備			
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実	(2) 地域包括支援センター事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向
		現状値(H25)	目標値(H29)	
総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課			①充実 ②継続 ● ③新規
事業の概要				
<p>高齢者が安心して生活を続けていくために、介護保険サービスだけでなく関係機関のネットワークを活かしながら、総合相談支援を通じて、制度の垣根を越えた横断的・多面的な援助を目指す。</p> <p>高齢者が認知症や要介護状態になっても、生命や財産が守られ、日常生活に支障をきたすことなく安心して暮らすことができるよう、個人の尊厳を保持するための権利擁護事業の効果的な活用を促進する。</p>				
平成26年度実績				
◎総合相談事業 ○総合相談延べ件数……4,405件 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待通報件数……23件(内、虐待と認定した件数……16件) ○成年後見制度に係る相談件数延べ件数……353件(実人数51人、申立て件数10件)				決算額
				5,821千円
				実績値
				左記参照
				進捗状況
4				
事業に対する評価・課題等				
○個別訪問により実態把握を行うことで、支援を必要とする高齢者を発見し、適切な支援や継続的な見守りを行い、問題の予防的対応を図ることができた。 ○協力事業所や見守り推進員と連携して、地域全体で見守りや訪問等を行い、日常的な安否を確認するとともに、異常等を発見した時に迅速に対応できるよう努めた。				
男女共同参画の視点での評価				
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか				4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか				5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか				5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか				5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか				3
平成27年度予定				
◎総合相談事業 ○初期相談から、継続的・専門的な援助まで対応する総合的な相談支援 ○高齢者の実態把握のための個別訪問 ○高齢者地域見守りネットワークの運営 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待防止への取組 ○成年後見制度の活用 ○消費者被害の防止				予算額
				6,007千円
				目標値
				—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(2) 地域包括支援センター事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
成年後見人制度支援事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>①高齢者などからの権利擁護に関わる相談などに対応する。 ②成年後見人制度の利用が必要と思われる人について、その家族などに成年後見人制度の必要性や手続き等を説明し、申し立てにつなげる。 ③成年後見人制度が必要であるにも関わらず身寄りがないような人について、市長申し立てにつなげる事等の権利擁護に係る事業を行う。</p>					
平成26年度実績					
○相談延べ件数……353件 ○申し立て支援……51件 ○申し立て件数……10件(うち市長申し立て件数 1件)					決算額
					96千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
成年後見人制度の利用に関する説明や助言を行い、申し立てにともなう支援を行った。又、成年後見人制度を広く普及させるための広報の利用、並びに地域の医療機関、権利擁護に関わる団体等との連携を図った。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成27年度予定					
○成年後見人制度利用支援事業見込人数……2名 ○市長申し立て見込件数……3件 ○制度普及のための研修会開催……2回 ○相談・制度説明・手続支援					予算額
					771千円
					目標値
					—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実			(2) 地域包括支援センター事業の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
包括的・継続的ケアマネジメント事業	高齢者福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
地域包括ケア体制ネットワークの構築 介護支援専門員の情報交換促進 介護支援専門員に対する日常的指導・相談 支援困難事例への指導							
平成26年度実績							
地域ケアネットワーク会議を構成する部会を定期的を開催することで、地域ケアネットワーク会議の強化を図った。 ◎地域ケアネットワーク会議……3回 ・介護支援専門員部会……6回 ・介護サービス事業所部会……3回 ・認知症対策部会……8回 ・地域見守り部会……2回 ・権利擁護部会……4回 ・介護予防部会……4回 ・主任介護支援専門員研修会……1回 ・ケアマネ支援……218件/年、サービス担当者会議への参加……20回/年、合計238件							決算額
							762千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
市内41か所の居宅介護支援事業所の介護支援専門員100名からの相談は、年々支援困難事例が増加しているため、部会を定期的を開催し関係機関との繋がりを強化することで、個別の事例に対応できるネットワーク構築に力を入れている。今後は、独居高齢者の見守り、虐待、認知症等多様化する問題に対応できる様、地域ケアネットワーク会議及び部会の充実を図り、運営協議会との繋がりを強めていく必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
◎介護支援専門員に対する個別支援 ①支援困難事例を抱える介護支援専門員への支援(窓口相談・同行訪問) ②サービス担当者会議の開催支援 ③ケアマネジメントの質の向上のための研修会開催 ◎包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築 ①「地域ケアネットワーク会議」を中心とした関係機関の連携体制づくり							予算額
							865千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実			(3) 認知症高齢者への支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
介護予防事業に係る一次事業 総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
「認知症になっても安心して暮らせる街・宇和島」を目指し、認知症高齢者を取り巻く問題の支援体制システムを構築する。一次予防事業の中で認知症の予防を図り、総合相談・権利擁護事業で認知症の方の相談を行い、認知症の方がより安心して生活できるよう支援する。							
平成26年度実績							
宇和島市独自で認知症高齢者への対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) ○地域ケアネットワーク会議・認知症対策部会……適宜部会を開催し、宇和島市として取り組む認知症対策について、検討する。年8回開催。 ○認知症ケアパス検討会 年3回 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為に協力者を確保するとともに、情報伝達のしつこみを宇和島市全体で取り組む。認知症フォーラム1回開催(79名参加)、だんだんネット協力事業所25事業所追加。により、26年度末時点で協力事業所総数398事業所。 ○認知症学習会 ・認知症講演会 174名参加 ・認知症講座(サポーター養成講座) 年28回・914人 ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の結成 年1回・26名参加、メイト登録者147名 ・認知症家族のつどいへの協力 年12回、 ・認知症相談室……医師相談 年5回・12件							決算額
							390千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
○認知症に係る事例検証など、学習会及び研修会を通じて関係者を通じて、認知症が病気であることの理解者や支援できる認知症サポーターの養成が推進できた。							
○徘徊SOSネットワークの構築については、系統的な情報伝達のしつこみについて、整備に一層の努力が必要と思われる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
オレンジプランに基づき認知症高齢者への対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) ○地域ケアネットワーク会議・認知症対策部会……適宜部会を開催し、認知症対策について、検討する。 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為に協力者を確保し、情報伝達ルートの確立。 ○認知症医療・ケア研修会、ケアマネとの連携 ○認知症学習会 ・認知症講演会の実施 年1回 ・認知症講座(サポーター養成講座) 年30回 ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の開催 年1回 ・認知症家族のつどいへの協力 年12回 ・認知症相談室……医師相談 年6回 ○認知症ケアパス検討会 年3回 認知症ケアパス作成ワーキング会議 年5回							予算額
							599千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	3 貧困など生活上の困難に直面する男女への支援			(1) 多重債務相談の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
多重債務相談	企画情報課			①充実		②継続	③新規
事業の概要							
認定司法書士による多重債務相談を行ない、問題解決方法などの情報提供を行なう。							
平成26年度実績							
認定司法書士による多重債務相談 年6回開催。							決算額
							90千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
債務問題を抱えた方に対して、専門家による問題解決方法などの情報提供を行うことができた。また、消費生活相談員による消費生活に関する問題に対する相談窓口の充実を図ることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
認定司法書士による多重債務相談 年6回開催。							予算額
							90千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-